



2022年3月31日

各 位

会社名 フィードフォースグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚田 耕司
(コード番号：7068 東証マザーズ)
問合せ先 取締役グループ担当 西山 真吾
(TEL. 03-5846-7016)

連結子会社間の会社分割（吸収分割）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年6月1日を効力発生日として、会社分割（吸収分割）により連結子会社である株式会社フィードフォース（以下、「フィードフォース」）の Feedmatic 事業及び Feedmatic 事業に関連するデータフィード事業を、同じく連結子会社であるアナグラム株式会社（以下、「アナグラム」）へ承継させること（以下、「本会社分割」）を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本会社分割は当社連結子会社間での吸収分割であるため、開示事項及び内容を一部省略して開示しております。

記

1. 本会社分割の目的

Feedmatic 事業では、フィードフォースにおける各種インターネットテクノロジーサービスを開発してきた技術的な強みを活かし、データフィード広告を主軸とした広告媒体の機械学習による効果最大化を前提としたコンサルティング型の広告運用代理店業務及び企業内でのインハウス広告運用支援を行っております。

一方、アナグラムは、当社グループのプロフェッショナルサービス事業の中核を担う会社として、検索連動型テキスト広告（リスティング広告）やディスプレイ広告等の運用型広告を専門に取り扱うインターネット広告運用代行事業を展開し、企業のマーケティング支援を行っております。

今回、本会社分割を実施することにより、相互のノウハウを共有し、プロフェッショナルサービス事業のさらなる事業力の強化及び当社グループの業容拡大を図るものであります。

2. 本会社分割の要旨

(1) 本会社分割の日程

フィードフォース吸収分割契約承認取締役会	2022年3月31日
アナグラム吸収分割契約承認取締役会	2022年3月31日
本会社分割契約締結日	2022年3月31日
フィードフォース吸収分割承認株主総会	2022年4月18日（予定）
本吸収分割効力発生日	2022年6月1日（予定）

なお、アナグラムは会社法796条第2項に基づき、株主総会の承認決議を経ずに会社分割を決定しております。

(2) 本会社分割の方式

フィードフォースを分割会社、アナグラムを承継会社とする吸収分割となります。

(3) 本会社分割による株式の割当の内容

本会社分割は、完全子会社間にて行われるため、株式の割当て、その他対価の交付は行いません。

(4) 本会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い
該当事項はありません。

(5) 本会社分割により増減する資本金
当事会社において資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務
効力発生日において、分割会社であるフィードフォースの本会社分割の対象となる事業に属する資産、負債（債務）、労働契約、契約上の地位及びその他権利義務を吸収分割契約書に定める範囲において承継します。

(7) 債務履行の見込み
本会社分割において、承継会社の債務履行の見込みには問題はないと判断しております。

3. 本吸収分割の当事会社の概要

(1) 本吸収分割の当事会社の概要

	分割会社 (2022年3月31日現在)	承継会社 (2022年3月31日現在)
名称	株式会社フィードフォース	アナグラム株式会社
所在地	東京都文京区湯島三丁目19番11号	東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目4番4号
代表者の役職・氏名	代表取締役 塚田 耕司	代表取締役 阿部 圭司
事業内容	データフィード関連事業、デジタル広告関連事業、ソーシャルメディアマーケティング関連事業	コンサルティング事業、広告運用代理事業、マーケティング支援事業
資本金	10,000千円	10,000千円
設立年月日	2021年6月1日	2010年4月28日
発行株式数	1,001株	1,000株
決算期	5月31日	5月31日
株主構成	フィードフォースグループ株式会社 100%	フィードフォースグループ株式会社 100%

(2) 分割する部門の事業内容

フィードフォースのFeedmatic 事業及びFeedmatic 事業に関連するデータフィード事業

(3) 分割する部門の経営成績、資産・負債の項目及び帳簿価額

① 分割する部門の経営成績

売上高 176百万円（2021年9月～2022年2月）

② 分割する資産、負債の項目及び金額（2022年2月末）

流動資産 210百万円

流動負債 140百万円

4. 会社分割後の状況

本会社分割による当事会社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期の変

更はありません。

5. 今後の見通し

本会社分割による、当社グループの連結業績に与える影響は軽微であります。

以上